



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月7日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL http://www.fantasy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスク (氏名) 新田 悟 TEL 043 (212) 6203
 マネジメント担当
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 平成27年11月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	27,860	17.3	1,267	△27.6	1,057	△40.8	517	△39.2
27年2月期第2四半期	23,744	—	1,751	—	1,785	—	850	—

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 199百万円 (△73.5%) 27年2月期第2四半期 754百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	27.34	27.24
27年2月期第2四半期	46.88	46.71

(注) 平成27年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	42,666	24,635	56.9
27年2月期	30,041	21,608	70.7

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 24,287百万円 27年2月期 21,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年2月期	—	15.00	—	—	—
28年2月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	24.4	3,200	21.8	3,700	8.3	1,580	18.2	81.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	19,713,825株	27年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	27,288株	27年2月期	29,275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	18,917,528株	27年2月期2Q	18,141,602株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2016年2月期第2四半期連結累計期間は、過去最大51店舗の新規出店を行うとともに、国内において2015年6月1日に株式会社ファンフィールド（以下、「ファンフィールド」という）と合併し、店舗数、売上とも業界No.1のアミューズメント施設運営企業となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が278億60百万円（前年同期比17.3%増）とファンフィールドとの合併や海外事業の売上増加により過去最高となりましたが、積極的な出店や合併等による一時的なコスト増に加え、人民元の切り下げによる為替差損等が発生した結果、営業利益は12億67百万円（同27.6%減）、経常利益10億57百万円（同40.8%減）、四半期純利益5億17百万円（同39.2%減）となりました。

(国内事業)

国内事業は、3月と7月に全店規模で遊戯機械の入替えを実施し、既存店営業力の底上げを行いました。特にメダル部門では、新規導入機械の売上が好調に推移したことや人気イベントの実施を強化したことにより、第2四半期会計期間の既存比は1.1%増となりました。また、第2四半期連結累計期間に29店舗で「光る立体遊具」を導入した時間制遊具部門の同期間既存比は4.7%増と好調に推移いたしました。

店舗投資については、新業態のキッズプレイカフェ「カフェもりっちゃ赤羽店」を含めた新規出店13店舗に加え3店舗の大型活性化を実施し、第2四半期連結累計期間では前年同期（新規出店7店舗、大型活性化1店舗）に対し2倍の前倒しの投資を行いました。

以上の結果、国内事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高239億25百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益13億68百万円（同28.2%減）となりました。

(海外事業)

海外事業は、事業展開エリアの拡大を含めた新規出店に注力し、今期は5か国で38店舗の出店を行いました。また、本年4月に北京にオープンした次世代型テーマプレイグラウンドの新業態「ファンペッカ」は、お客さまからの支持も高く好調に推移するとともに、地元ディベロッパーから集客機能としての評価をいただき出店要請が相次いでおります。中国事業の第2四半期末店舗数は92店舗の規模となり、設立後初めて第2四半期連結累計期間で営業利益の黒字化を達成いたしました。海外における店舗数は、第2四半期末で215店舗（フランチャイズ店舗等を含む）となりました。

以上の結果、海外事業の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高39億56百万円（前年同期比102.2%増）、セグメント損失は1億円（前年同期セグメント損失1億53百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、115億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億57百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加（16億75百万円）、夏休み期間中の売上金の増加による売上預け金の増加（9億99百万円）や店舗数の増加に伴うたな卸資産の増加（5億48百万円）であります。なお、ファンフィールドとの合併により受け入れた流動資産の額は18億9百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、311億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億68百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化等に伴う遊戯機械の増加（52億51百万円、うち合併による受入額24億95百万円）であります。なお、合併により受け入れた固定資産の額は45億35百万円であります。

この結果、総資産は426億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ126億25百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、170億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億12百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（63億50百万円）や設備支払手形の増加（13億43百万円）であります。なお、合併により受け入れた流動負債の額は31億11百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、9億62百万円となりました。

この結果、負債合計は180億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億98百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、246億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億26百万円増加いたしました。主な内訳は、資本剰余金の合併による増加（30億82百万円）や四半期純利益の計上（5億17百万円）、剰余金の配当による減少（2億72百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月9日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社では、従来、商品の評価方法を売価還元平均原価法によっておりましたが、当連結会計年度より、移動平均法に変更しております。

この変更は、当社において、在庫管理システムの改修に伴い、システムによる店舗及び単品ごとの商品受払管理の精度が向上したことにより、より適正かつ迅速に在庫金額を把握し、より適正な期間損益計算を行うために行ったものであります。

当会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、これによる損益及び財政状態に与える影響は軽微であります。

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について退職給付の見込支払日までの平均期間を基礎として決定する方法から、主として退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が10,777千円増加し、利益剰余金が7,339千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,369,118	5,044,536
売掛金	355,893	455,603
売上預け金	1,250,954	2,250,206
たな卸資産	1,604,816	2,153,440
その他	1,409,169	1,643,302
流動資産合計	7,989,952	11,547,089
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,624,060	4,941,328
遊戯機械（純額）	12,969,628	18,221,185
その他（純額）	1,344,818	1,742,796
有形固定資産合計	17,938,507	24,905,310
無形固定資産		
のれん	369,709	275,732
ソフトウェア	446,142	469,244
その他	8,874	8,235
無形固定資産合計	824,726	753,213
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,452,168	3,667,348
その他	835,656	1,793,745
投資その他の資産合計	3,287,825	5,461,094
固定資産合計	22,051,059	31,119,617
資産合計	30,041,012	42,666,707
負債の部		
流動負債		
買掛金	807,702	1,421,451
短期借入金	150,000	6,500,000
未払費用	1,155,465	2,077,344
未払法人税等	1,154,411	674,690
賞与引当金	203,339	305,090
役員業績報酬引当金	12,158	7,334
閉店損失引当金	-	18,098
設備関係支払手形	2,186,655	3,529,694
その他	2,286,287	2,534,779
流動負債合計	7,956,020	17,068,484
固定負債		
長期借入金	-	312,000
退職給付に係る負債	96,282	102,763
資産除去債務	246,494	406,771
その他	133,624	141,198
固定負債合計	476,401	962,732
負債合計	8,432,421	18,031,217

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,704,228	4,785,234
利益剰余金	17,146,782	17,385,957
自己株式	△46,769	△43,633
株主資本合計	20,551,380	23,874,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,798	29,514
為替換算調整勘定	700,248	414,200
退職給付に係る調整累計額	△33,627	△30,475
その他の包括利益累計額合計	693,419	413,239
新株予約権	69,189	95,017
少数株主持分	294,601	252,535
純資産合計	21,608,591	24,635,489
負債純資産合計	30,041,012	42,666,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	23,744,085	27,860,233
売上原価	20,518,655	24,765,306
売上総利益	3,225,430	3,094,927
販売費及び一般管理費	1,473,761	1,827,072
営業利益	1,751,669	1,267,854
営業外収益		
受取利息	7,395	15,093
為替差益	38,090	-
固定資産売却益	1,716	116,090
その他	15,944	39,550
営業外収益合計	63,147	170,735
営業外費用		
支払利息	0	18,298
為替差損	-	258,206
固定資産売却損	18,177	64,062
合併関連費用	-	20,913
その他	10,882	19,868
営業外費用合計	29,059	381,349
経常利益	1,785,756	1,057,240
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	11,326	1,050
減損損失	14,376	71,372
店舗閉鎖損失	2,613	4,675
その他	-	9,335
特別損失合計	28,315	86,432
税金等調整前四半期純利益	1,757,441	970,808
法人税、住民税及び事業税	1,074,975	619,965
法人税等調整額	△168,458	△161,509
法人税等合計	906,517	458,456
少数株主損益調整前四半期純利益	850,923	512,351
少数株主利益	532	△4,930
四半期純利益	850,391	517,282

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	850,923	512,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,164	2,715
為替換算調整勘定	△97,848	△318,641
退職給付に係る調整額	-	3,152
その他の包括利益合計	△96,684	△312,773
四半期包括利益	754,239	199,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739,741	241,676
少数株主に係る四半期包括利益	14,498	△42,098

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,757,441	970,808
減価償却費	2,182,536	2,804,819
固定資産除売却損益 (△は益)	53,028	△44,442
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,011	△91,759
受取利息	△7,395	△15,093
支払利息	0	18,298
減損損失	14,376	71,372
売上債権の増減額 (△は増加)	△228,521	△62,670
売上預け金の増減額 (△は増加)	△3,994,370	△592,907
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△553,177	△157,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	172,048	64,310
その他	△189,433	△602,746
小計	△789,456	2,362,398
利息の受取額	8,614	17,035
利息の支払額	-	△18,314
法人税等の支払額	△1,143,466	△1,114,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,924,308	1,246,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,859,368	△6,651,718
有形固定資産の売却による収入	29,294	722,834
無形固定資産の取得による支出	△82,941	△90,606
長期前払費用の増加による支出	△15,437	△67,158
敷金及び保証金の差入による支出	△136,985	△368,362
敷金及び保証金の回収による収入	20,432	48,195
関係会社寄託金の純増減額 (△は増加)	6,000,000	-
投資有価証券の取得による支出	-	△106,000
その他	△10,585	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,944,408	△6,512,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	6,350,000
長期借入れによる収入	-	325,200
配当金の支払額	△272,564	△272,085
その他	△96	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,339	6,403,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,833	△119,690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,606	1,016,845
現金及び現金同等物の期首残高	3,246,115	3,369,118
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	658,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,248,722	5,044,536

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2015年6月1日付で株式会社ファンフィールドと合併いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金が30億82百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において47億85百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年3月1日 至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,787,793	1,956,291	23,744,085	—	23,744,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,841	—	19,841	△19,841	—
計	21,807,635	1,956,291	23,763,926	△19,841	23,744,085
セグメント利益又は損失(△)	1,905,109	△153,440	1,751,669	—	1,751,669

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,903,845	3,956,388	27,860,233	—	27,860,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,027	—	22,027	△22,027	—
計	23,925,872	3,956,388	27,882,261	△22,027	27,860,233
セグメント利益又は損失(△)	1,368,728	△100,873	1,267,854	—	1,267,854

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 海外における中国の当第2四半期は、2015年3月～8月（前第2四半期は、2014年1月～6月）

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成27年6月1日付けで、株式会社ファンフィールドを吸収合併し、63億45百万円の資産を受け入れたため、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間末の国内事業の資産が増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメントにおいて46,607千円の減損損失を計上しており、「海外」セグメントにおいて24,764千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメントにおいて、のれんの減損を行ったことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれんの減少額は、19,950千円であります。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）の中に当のれんの減損も含めて記載しております。